

# 教育センター通信

## ほど 火床の火の心を紡ぐ

第3号（通算53号）  
平成30年6月28日  
三条市小中一貫教育推進課  
教育センター 発行



総合防災訓練 中学生ボランティア活動  
避難者へ食事の提供  
※6月24日(日) 第一中学校

## 保・幼・小・中で取り組む「眠育」のすすめ

小中一貫教育推進課 統括指導主事 熊倉 隆司

子どもの睡眠習慣の乱れが学習意欲や学力の低下、登校しぶりや不登校など子どもの成長に影響を与えることが報告されています。三条市教育委員会では、これまでも生活リズムを整える指導の視点の一つであった睡眠について、その更なる重要性に着目した「眠育」（睡眠教育）の取組を推進することにより、心身共に健やかな子どもの成長を一層促したいと考えています。

熊本大学名誉教授の三池輝久先生から御指導いただきながら、次のような取組を進めています。

保護者・教員への講話や研修会による啓発→児童生徒への講話や授業→睡眠調査票を用いた14日間の児童生徒の睡眠実態調査→睡眠調査票の記録を基にした本人・保護者による自己評価と教員による評価→睡眠調査票への教員によるコメントの記入と児童生徒への返却→必要な児童生徒・保護者への個別面談→必要な児童生徒への教員の声掛け

教員には、調査票からその子の睡眠習慣のよい点や改善すべき点を読み取る力を付けることと、子どもの家庭生活に一步入ることになるので家庭に協力していただくという姿勢が求められます。

昨年度から、瑞穂学園エリアをモデル地区としてこのような取組を進めています。3つの保育所・こども園、2つの小学校、1つの中学校が同時に取組を進めることで、家庭は兄弟姉妹揃った取組が求められ、理解と協力が得やすくなります。また、一人の子どもが継続して繰り返し取り組むことになるため実践力の向上が期待でき、小中のみならず保・幼も含めた一貫教育の一つの大きな柱となり得ます。また、地域とも一体となった取組も可能と考えます。

今年度、瑞穂学園エリアでは既に1回目の睡眠調査期間を終え、新たに四つ葉学園・三条おおじま学園エリアでも睡眠調査に取り組む予定です。

# さんじょう学びのマルシェ 受講生募集しています！

さんじょう学びのマルシェは、今年で5年目を迎えます。子どもたちの学びを支援する教室です。

今年から日曜日は、午前・午後の選択制です。また、少人数指導で子どもの力をさらに伸ばしていきます。

土曜日についても多くの指導員が配置されているので、少人数指導と変わらない丁寧な指導を受けることができます。

学ぶ意欲のある子ども、もっと頑張れる力をもっている子どもにも、このような教室の存在があることを知らせていただければと思います。

日曜日の小学6年生午前コースは定員になりましたが、その他のコースは、まだ余裕があります。



6月10日（日）に、学びのマルシェ（トッランナー・エキスパート・トライアル教室）の開講式を行いました。今年度より業務を委託する「家庭教師のトライ」の講師陣の挨拶の様子です。

土曜日教室（定員）	会場	小学生	中学生
ステップアップ教室(各学年 30名程度) 学校での学習内容をほぼ理解し、日頃の学習の補足的な内容の学習を希望する人	①第一中・嵐南小 ②一ノ木戸小 ③教育センター（栄庁舎） ④下田公民館 ⑤井栗集会所 ⑥大崎学園	算数	数学・英語
プラスワン教室(各学年 30名程度) 学校での学習内容の理解に不安があり、日頃の学習を個別に学び直すことを希望する人		小5 9:30 ~ 10:30	中1・2・3 7・8・9年生 9:30 ~ 11:40
		小6 10:40 ~ 11:40	
		月 1,000 円	月 1,500 円

日曜日教室・教科	対象（定員）	会場	時間	参加費
トッランナー教室 国語 数学 英語 学校での学習内容を十分に理解し、難易度の高い内容の学習を希望する人	中学1・2年生 7・8年生 4~6人×4クラスずつ	教育センター（栄庁舎）	9:00~12:10 14:10~17:20	月 3,000 円
エキスパート教室 国語 数学 英語 学校での学習内容を十分に理解し、発展的な内容の学習を希望する人	中学1・2年生 7・8年生 4~6人×4クラスずつ		※午前・午後で選べます。	
トライアル教室 算数 学校での学習内容をほぼ理解し、日頃の学習のやや発展的な内容の学習を希望する人	小学5・6年生 12~13人 ×2クラスずつ		9:00~10:00 13:00~14:00 ※午前・午後で選べます。	

# 力を付けたい！！

## 授業力向上実践研修（Step1, Step2 研修）始まる

5月の「平成30年度授業力向上実践研修ガイダンス」を皮切りに、今年度のStep1, Step2研修が始まりました。今年度の受講生は、教職2年目～5年目対象のStep1研修23名、教職7年目～10年目対象のStep2研修6名の計29名です。

第1回の学習会をStep1, Step2別に、それぞれ6月14日と15日に開催しました。当日は事前に作成した個々の研修計画について、グループ内で紹介しました。その後、授業改善や研究の進め方など、テキストを基に研修を実施しました。「力を付けたい」という志を持つ仲間と共に、よいスタートが切れたのではないかと考えます。今後は、それぞれの受講生が抱える課題を解決すべく、授業改善に向けて取り組んでいくこととなります。そのために、3回の学習会、研究授業、

「授業づくり実践記録」・「教育研究論文」の執筆などを予定しています。

全ての受講生が、「1年間を通しての研修」、「自分で計画的に進める研修」、「一人一人に担当指導主事が付く研修」という本研修の特徴を最大限に生かす中で、実り多い研修になることを祈念しています。



<意見交換をする受講生 Step1研修より>

### 受講者の研修にかける思い（各自の研修計画より一部抜粋）

- ・文学的な文章の読みの力を伸ばす授業を実現する。
- ・社会的事象を多面的に捉え、価値判断する力を身につけさせたい。
- ・主体的に友達とかかわりながら問題解決をし、思考力・判断力を伸ばす授業をしたい。
- ・自分から進んで実験したり、結果からどんなことが言えるか考えたりする姿が見える授業。
- ・全員が授業に参加し、「できた」「分かった」と実感できる授業にしたい。

### 学園の取組

#### 瑞穂学園 外国語カリキュラム作成研修

6月5日(火)



西鱒田小、月岡小の4～6年の担任が協力して、2学期以降のカリキュラム作成を開始しました。学園の1学期分のカリキュラムは外国語担当職員が作成しましたが、これからは担任の出番です。テキスト、指導書、そしてモデルプランを机に広げ、自らの授業をイメージしました。今後はデジタル教材を動かしながら、さらに具体的に作成する予定です。瑞穂学園では、学校行事と絡めた内容にすることにも挑戦しています。

## 一ノ木戸ポプラ学園 リトルティーチャー活動



中学生が小学生に学習を教えたり、活動のお手伝いをしたりする「リトルティーチャー活動」。中学生の自己有用感を高め、小学生の憧れ意識を醸成する一ノ木戸ポプラ学園ならではの小中交流活動です。

リコーダーの指遣いや算数の学習を教えたり、体力テストの測定補助をしたりする優しい中学生、中学生のアドバイスを聴き、活動への意欲を高める小学生。日常とは違う活動の中で、多くの教室で児童生徒の微笑ましい姿がたくさん見られました。

以下、中学生の感想を紹介します。

- ・最初はどう接してよいかとまどったけれど、最後には仲良くなれてうれしかったし、楽しかった。全員がガスバーナーをつけるのが一発成功してびっくりしました。
- ・みんな積極的に聞いてくれて、とてもかわいかった。みんなとてもリコーダーが上手でした。
- ・思っていた以上に小学生がしゃべりかけてくれて、うれしかったです。たくさん小学生と関わって楽しかったし、とてもいい経験になりました。



## 子どもの科学教室「生物教室」を開催

今年度の「生物教室」が6月9日(土)、10日(日)の両日、大崎山グリーンスポーツセンター周辺、及び体育館を会場に開催しました。今回は「大崎山の動植物をさぐる生物教室」というテーマです。

1日目は、スポーツハウス前からテニスコート周辺にかけて、動植物を観察しました。湧き水のところにトウホクサンショウウオがいました。前足の後ろに「えら」が見られます。(写真参照) 右側のミズムシの大きさが約1cmです。テニスコートの手前で、きれいな緑色の幼虫を見つけました。後日、調べたら、ヒメヤママユガの幼虫のようです。テニスコートの周囲には、きれいな黄色い花が咲いていました。オオキンケイギクです。最近、あちこちで見かけますが、特定外来生物で栽培等が原則禁止されています。非常に繁殖力が強く、駆除することが勧められています

2日目は、地表をほう昆虫などを捕まえるためのトラップを確認しました。アリ、ゴミムシ、ハサミムシなどがかかっていました。その後、体育館の中で、2グループに分かれ、交替で「草花のしおり」や「押し花」づくりと、植物を使っての遊びを体験しました。遊びでは、ヨシの葉の草笛や、イタドリをの茎を使って笛やブーブー笛作りをしました。また、ハウノキの葉の風車を回しました。

子どもたちは、全員が「とても楽しかった」と評価しています。子どもたちの感想を紹介します。

- ・いろいろな植物を使って、笛を作ったり、押し花をしたり、とても楽しかった。
- ・葉っぱでしおりを作るのが楽しかったです。また、やりたいです。

先生方も、是非、活動支援スタッフとして参加され、子どもたちと一緒に楽しく活動していただければありがたいです。



トウホクサンショウウオ



オオキンケイギク



